

理 事 会

日 時: H11.12.20.18:00 ~ 大阪凌霜クラブにて

参集理事: 太田会長、田中(初)、子安、西松、安中、浜田、山口、岡田、森内、川崎

欠席理事: 今津、阪下、吉川、三森、岡田(功)、若林、三宅、辻

ずっと暖冬だったが、此の夜は可なり冷え込んだ。不景気も加わってか関西地区在住の理事サン方の集まりが悪い。また、遅い。

当日の議題

1. リーグ戦の結果報告
2. H.11、年度の会計進捗状況報告
3. 年会費の集金状況報告及び改善策の検討
4. 来年度の三商大戦について
5. その他

そこで、やや軽い議題から開始する。

第4号議題: 来年(H.12)度の三商大戦について

H.12年は神戸大が当番校である事。

一橋大が連日連戦で不利になっているのを少しでも和らげる要あるとの西松理事判断もあって、H.12年5月3日(対市大用)、5月5日(対神大用)として、花園第2グラウンドが予約された。対戦後のレセプションも行なう。

〈神大側の予定を纏めると〉

1. H.12.4.29(祝)、現役の大市大戦
O.B 対 現 役 戦

凌霜R.C 総 会

2. H.12.5.3(祝)、一橋大 VS 大市大
3. H.12.5.5(祝)、神大 VS 一橋大
レセプション

花園第2グラウンドの予約は多々見氏(S35)の紹介で成立したものの、5月5日の対戦後にレセプションを行う。と言うことになります。

☆詳細については、後日連絡が有ります。

第2.3号議題: 年会費の集まり具合と改善策

凌霜のH.11年度目標は、300万円に対し、12/15現在の受取実績額は215万円、71%である。

一橋などは、O.B一人2万円だが、約500万円集まるそうだ。一方、凌霜R.Cでは、O.B用に250万円と現役補助用に150万出してやると、400万円が必要なのに。

以前から会費を集める率の向上に腐心してきたが、一つの方法として、自動支払い方法を採用したが、対象者394人のうち賛成参加者は152人に止まっている。また、現役がO.B訪問して集金する方法が良いとの案を実行しても見たが、これは情け無い内輪話だが、“O.Bの中に不心得なものが居て、居留守を使うとか、ヨッシャ!後から必ず振り込んだるワ等々調子は良いのだが決して振り込まない”てな事で成果が上がら無い。会員の数は年々増えても、会費収入は増えないとの悪状況がこのまま続くのならば、個人負担額を増やすか又は集まった額内でのワークで止めるしかない。

優良O.B諸氏から対処の名案をお寄せ賜りたし。

第5号議題: そ の 他

H.11年度の会計のメは、H.12.3月末とする。

会計監査は H.12.4.3に行なう。

定例理事会は H.12.4.10に行なう。

総 会 は 例年どうり H.12.4.29に行なう。

凌ラ・ゴルフ・コンペ は吉川氏(S.51)の肝入で西松・小林(S.31)、野村(S.34)、吉川他多数の参加を得て、H.11.12.4に楽しく行ない、野村氏が優勝。

今回は、ワシコン!と逸られる方々はドシドシ吉川幹事迄お申し込み下さい。

会報はH.11年の後期号を、H.12.2月にお届けす。

第1号議題: リーグ戦の結果報告

1) 1999年、関西Bリーグでの戦績

神戸大	相手校
9/26 × 20	VS 30 関西大
10/10 △ 29	29 大教大
/17 × 5	65 天理大
/24 ○ 55	12 大市大
/31 × 27	29 大産大
11/14 × 15	26 京都大
/21 ○ 22	15 大商大
/28 × 0	28 関学大
12/ 5 × 8	15 甲南大

☆結果: Bリーグ9位で、入替戦へ。
(9戦、2勝・6負・1分)

2) 入れ替え戦

12/18 宝ヶ池 40分ハーフ

神戸大 5 (5 - 5) 34 流通科学大学
0 - 29

☆結果: 神戸大、大市大はCリーグへ。
流通科学大、花園大はBリーグへ。
BリーグからAへの昇格は無し。

時間も経、参集理事各位も出揃い、第1号議題のメイン・ポイントに入る。
現役軍のCリーグへの陥落は深刻な問題であり、対処策を巡って真剣な議論が闘わされた。

〈敗戦の原因分析〉

地域的には85%の割りで取っていたが、得点する決め手を欠いている。

スクラムが弱く、押し切れない。これの対策としての強化訓練、例えば組めるメンバー数を自前で何とか増やすか、相手をサガシ出しての訓練が必要。

モールで攻めて不成功に終わる。京都大等は、神戸FWの後ろへパントを上げて、勝ちに来た。ハイパンの必要性の訓練も必要。

Mrルークの筋肉断裂負傷からの戦列離脱と、その他全体的に疲労気味で全力での戦闘力を欠いていた。これは、チーム全体のバイオリズムの造り違いで、丁度谷間に嵌まった様だ。リーグ戦時に山にせねば。

種々の問題点は、各年多かれ少なかれあるが、経験を積んだ先輩達の良き、アドバイスを採り入れる事が必要。今度・この時にこそ、これが特に必要だろう。

〈対 処 案〉

これについては、種々意見各出、カンカン・ガクガク場には湯気があがる猛烈な議論が闘わされた。

現役陣がCへ落ちたこの際、ケジメを付ける要あり。

現・監督、コーチは 辞任すべき。

O.B陣、会長・理事(各種役員含む)も、辞任すべき。

筋を通して、全てを一新して、この難関を解決すべし。

いやいや、運営を変える事、監督・コーチの新任等々は、必要かも。しかし最近の現役キャプテン決定は、人気投票で決め過ぎだ。又、現O.Bの各役員は、プロでは無い。アマであり、而もボランティアで、全力を込めて努めているのであり、現役陣の成績不振で、O.B全役員が責任を負って辞任することは無い。

最近の現役キャプテンには、高校時代からの経験と、

技術を持って無い人が多い、だから、神大でラグビーをやらされる方向づけをどの位指示出来るかどうかが必要だった(例えば、或る試合に於いての当方のメンバー決定が現役の意思だけでなされ、監督の意向はいっこう尊重され無かった)が、それが出来無かったのは、監督の無力だ。

最近の若手O.Bはどう考えているのかな? Aリーグだった頃の連中の考え方は、共に練習に励む同志が一番コワカッとしO.Bは度外視してしまっていたネ、だから、O.B会にも沢山の若手O.B連が来ていましたネ、最近若手がアンマリ来ないが、若手O.Bの声なんかO.B会では通らんと思ってるんかネ。

落ちたCリーグに居りすぎると、即ちCリーグの位置に甘んずると、もう元に戻れ無くなるのが通例だ。一年後・直ちに元のBに復位の要がある。その為に、今、O.B主脳陣は、反省すべきは反省するが、現役陣がCに転落しても動じない。と言う“一枚岩になる必要”が有る。

〈本日の裁定〉

田中初雄 理事から

各理事から、大変有意義な諸案提示が成された。

太田会長に「纏めを一任してはどうか」。

太田会長

本日はご参集理事から、長時間に亘り、真剣な諸案が提議された。

重要な事柄は、ここで全てが解散ではあまり能が無いドウヤッテ再起すべきか?を案じ、改善の方向を探る事が最重要であると考えます。この重要な事項対策を案ずる為、山口理事に次回の議事選定を任せます。直近に開催してください。

☆近々、重要案件の会議がもたれる。

勝屋氏帰国歓迎パーティ

於：大阪凌霜クラブ H.11.10.7

於：東京凌霜クラブ H.11.10.12

参加者：太田(S.27)、子安(S.29)、赤崎(S.30)、松本・小林・西松・永井・伊藤(S.31)、安中(S.32)、名取(佳)・浜田(S.33)、野村・塩谷(S.34)、山口(S.36)

参加者：名取(S.30)、小出(S.32)、野川・山下・竹村(S.33)、松村・村尾(S.34)、久我(S.37)

勝屋氏(S.32)から挨拶と談話

勝屋氏(S.32)を囲んで、S.32 vs S.33年対抗ゴルフが行われた。さて、ブラジルが勝ったのかな?

昨日10年に、体の検査に帰国し、その結果を東京の病院で確認するのが今回の主体でしたが、マズマズとの事だったのでホッとしている所です。

名物の神田のウナギを食った。欧米ではアンマリ、ウナギは食わないが、デンマーク・オランダでは、ブツ切り・輪切りで燻製にしたものを食べる習慣はあるが、脂ギトギトで旨くない。やっぱりウナギは日本や!

帰国の都度に、クラブの旧友諸氏とこの様に歓談させて頂ける事に感謝します。

先程、お前は、ナンデ、ブラジルへ行ったンヤ?とのご質問がありましたネ。私が卒業の昭和32年は、日本の経済状況は貧しく求人も非常に少なかったンデス、ある日、学食で、同じ国歳ゼミのアダチ君が南米銀行へ無条件で採用される事に決まったとハナタカダカだった。ワシもドウヤロ?と聞くと、マア何とかナルヤロ。とのことで、ホンマに何とかなった。

南米銀行へ行ったら、誰もがカワイガッテくれた。就中この銀行のエライサンがワシの神戸での住所の一番違いに居られ、小・中・高・大の先輩だって取り分け良く面倒を見てくれた。その後、さんぱつのヨメハンと結婚した。エエモンヤゾー!見せたるから、早いうちにブラジルへこいヨ。

ブラジルへは、神戸から、大阪商船のブラジル丸という移民船で熊本県人、広島県人、和歌山県人らと一緒に行った。

プロボリスの液体を土産にくれた。

ラグビーボールに子安氏が一言書き、参加者一同サインし、記念撮影を行い、勝屋氏に贈った。

オーストラリアン・ルールズ・フットボール (オージー・ボール)の橋編

山下 弘(S.33)

98(H.10)11月のNo.43号で、寄稿したオージー・ボールについて、もう少し詳しく説明してくれとの依頼があったが、本当のところのルールの詳細を知っていると言う訳でもないで、No.43号では香港を出た所でカットにしていたオモロイ話を続けます。

香港を飛び立ってしばらくして「……イクウェイター……」とアナウンスがあり、赤道通過証明書とか言うものを貰い、お祝い(とオポシキ)の水割りを貰って、窓の外を覗いたけど真夜中のまっ暗闇で、赤い線を見る事が出来なかったのが残念だった。

その後随分飛び続け、ポート・モレスビーを通り越してシドニーに着くと違うんかいな一と思っていたら「ポート・モレスビー……フォッグ……リターン……マニラ」とか聞こえたので、これはエライコッチャと思う間も無く着陸体制に入り、着いた所がマニラ・朝の5時。イミグレでパス・ポートを取り上げられ、スーツ・ケースは飛行機に乗ったまま。バスで街中のホテルに連れて行かれて「12時間後に迎えに来ますから、それまでユックリお休み下さい。」でホッたらカシ。

こうなると、初めての海外旅行の事で、どないしたらええんかさっぱり判りまへん。取り敢えず商社のマニラ支店の電話番号を調べて電話してジャパニーズ・スタッフに代わって貰い、事情を説明してメルボルンと東京への連絡をお願いしてヤレヤレ。

午後、カンタスがバスで市内観光に連れて行っるとの事で、「マニラ観光付きのオーストラリア出張とはこれは儲かった」と出掛けたのは良かったけど、暑うて、暑うてたまりまへん。なんでこんな暑いんかとヨーヲ考えたら、東京出る時、メルボルンは南緯40°くらいで日本で言うたら青森・秋田あたりで今から冬に向かうんやから寒いといかんから言うて、日本で着た事も無いラクダの股引き穿いて、長袖のアンダーシャツで冬服を着て飛行機に乗ってしもうたんや、こんな出で立ちでマニラを歩いたんはワシくらいとちゃいまっしやるか?。お陰でメルボルンには、丸一日遅れて着きました。

後は、以前に寄稿したとおりです。ソウソウ、メルボルンではビックリしたんでっけど、こっちは太陽が西から昇って、東に沈みますんや。世界は広いナーと思いましたが。次の日も、又その次の日も確認したけど、やっぱり朝・右手から昇って、夕方・左手に沈みますネン。これはイヨイヨ「天才バカボンの世界やナー」と思ったんでっけど、またまたヨー考えたら太陽が北側に居るんでんなァー。やっぱり、赤い線を飛び越えとったんや。

そうそう、話の本筋は、オージー・ボールのルールの事でしたネ。すんまへん。

オージー・ボールの事で種々と本を探したんですが判らず終いで、仕方がないのでオーストラリア政府観光局へでも行って聞いてみるかと思っただけで、なんと、我が家の娘の本棚から簡単な説明を書いたガイドブックが見つかりましたので記します。

尚、会報#37号で、島村邦雄先輩(S.25)が一部触れて

おられますので、ご参照下さい。

〈グラウンドの大きさ〉

クリケットのグラウンドを利用した経緯から、長径150m~180m×短径130m~155mの楕円形が標準寸法で、理想の大きさは、165m×150mと公式ハンドブックに記されているとか。

〈試合時間〉

25分クォーターでロスタイムが加算される。例えば、ゴール後・プレー再開までの時間等。クォーター毎にサイドが替わり、クォーター・ブレイクは5分、ハーフ・ブレイクが20分。

〈得点〉

グラウンドの長径の両端に、6.4m間隔で4本のポールが立っており、中の2本が外側の2本より長く、これがゴールポスト。この長い2本のポールの間にボールを蹴り込むと6点(ゴール)。

蹴ったボールに手が触れたりして入った場合は1点(ビハインド)となる。

また、長いポールと短いポールとの間に蹴り込んだ場合も1点(ビハインド)となる。

〈ゲームの方法〉

ゲームは、グラウンド中央でのボール・アップで始まる。(バスケットと同様)。

ゴール後のゲーム再開も同じ。

ビハインドの場合は相手チームのキックで再開。

ゲームは2人のゴール・アンパイヤーと、2人のフィールド・アンパイヤーが取り仕切る。

ボールを持った相手をタックルする以外に手を出すと反則。

ボールを持って15m以上走ってはいけない。しかし、持ったボールを地面に接触させると、その地点より再び15m走れる。

パスは、ラグビーの様なパスは禁止で、ボールを片手で掴み、もう一つの手でゲンコツを作り、それで叩いてパスをする(ハンド・パス)。方向はどっちでもOK。

あとは蹴るのみ、蹴られたボールが10m以上飛んだ時、それをダイレクトでキャッチすれば「マーク」となり、マークしたプレーヤーはそこからフリー・キック、ハンド・パス、持って走る、のどれかが出来る。(敵ボールだけで無く、味方ボールもマークが出来る。)

ボールを持ったプレーヤーがタックルされた場合。タックルされたプレーヤーがペナルティを取られ、タックルした側のフリー・キックとなる。これは、とにかくボールを永く持たずに、早く放さなければイケナイと言う事だそうす。

ライン・アウトと言うか、タッチと言うのか、どっちか知りませんが、何の説明も無かったんですが、30年も前の事だからその臆気な記憶では、タッチを割った地点の内側でボール・アップをしていた様に思います。

出場選手の数は、明記されていませんが、1チーム18名の様です。選手の交代については、判りません。

随分昔の記憶ですが、ご質問にお応えしました。

六甲の喫茶「If」その後

Mg: 寺口 泰子

ご依頼により、1、2回生の部員が、行った時の感想を、下記の通りご報告いたします。

「If」に行ってきました。決して広いとは言えない店内でしたが、おじちゃん・おばちゃんが共に笑顔で迎えて下さり、温かい雰囲気でした。改装されたお店もとても綺麗でしたが、何と言っても暖かみのある事が一番印象に残りますし、その親しみやすく落ち着ける雰囲気は「また来たい」と思わせるものでした。今後も、こんなにすてきな感じで、ずっとお元気でやっていって欲しいですね。

(2回MG: 松岡)

先日は大勢で押しかけたので迷惑でしたかね。ウエスタン風の店内意匠はなかなか良い雰囲気でしたし、オムライスにカレーを掛けると言う他店には無いメニューはなかなかいいですね。たまた、部活のあとで行くとすると、もう少し安くてボリュームのあるものと、メニューの数がもう少し幅広いともっと嬉しいのだが。

(2回生: 古川)

阪急六甲の近くにある「If」は店内がとても明るく、綺麗で、なかなか居心地の良い場所でした。新聞・雑誌等も良く揃えられて居り、なかに居ると時間の経つのをツイ忘れる程です。又僕が食べたウエスタン・セットはオムライスにカレーを掛けると言う斬新なアイデアで、かなりの衝撃を受けたものです。

(2回生: 柳沢)

阪急六甲駅近くにある「If」は、大学からも近く、入り易い造りでした。内部のインテリアはアメリカ南部をイメージした造りで、ユックリしたいと思う人にはとてもイイ店です。店のオバサンがとても親切な人でラグビー部O.Bの方の昔話などをしてくれます。又、僕が選んだメニューのオムライスにカレーを掛けたものはなかなかイケましたよ。

(2回生: 嶺)

阪急六甲駅から徒歩で行ける距離にあり、店内もキレイで、とても良い店だとの感じでした。僕はオムカレーを選びましたが、とても美味しく、値段もまずまずと言った所かな。喫茶店なのでこれ以上のメニュー数を増やす事は難しいんですが、僕にとっては、もう少し選択幅が広いとモット嬉しいのですが、マア仕方ないか。店の人は、親しみ易く・優しいし、落ち着いた雰囲気でユックリとクツロギたい人にはお勧めです。

(2回生: 岡本)

阪急六甲のすぐ側にある、と言う事で部員の溜まり場となっていた事も頷ける。今はもうラグビー部の溜まり場では無くなっているとの事だが、店の雰囲気・オバちゃんの気さくさ等から考えると、その様な伝統が無くなるのは残念な気もする。下宿生活の僕にとって喫茶店に毎日のように訪れるのは贅沢な話ではあるが、そのような姿は僕の抱いていた大学生活にピッタリで、数年前の先輩達がウラヤマシイ。

(1回生: 森)

店の雰囲気が、70年代のアメリカ映画にでも出てきそうな感じで、そこで食べたオムカレーも何故か懐かしい味がしました。「If」と言う名前もメルヘンチックで、店とマッチしています。また、雰囲気も可なり良くてなかなか落ち着きます。

(1回生: 山本)

100周年記念に「学生日本一」

第36回全国大会選手権大会の決勝戦で、慶応大学が14年振り・3度目の優勝を果たした。

日本ラグビーのルーツ校が、創部百年を優勝で飾った。

慶応大 27 $\begin{pmatrix} 12 & - & 7 \\ 15 & - & 0 \end{pmatrix}$ 7 関東学院大学

☆創部76周年の神戸大も、今年すかさずBリーグ復帰昇格を果たす様に、期待している。

全国社会人ラグビー・準準決勝

1月16日に、花園と秩父宮で準々決勝戦が行われた。

◎トヨタ自一 ヤマハ発動機、東芝府中一神戸製鋼◎

◎NEC一近 鉄、リコーワールド◎

〈会費納入のお願い〉

- 1、本年、めでたくご卒業の諸君は、当会の規定により、自動的に凌霜ラグガークラブの会員になられます。会員には、会員としての義務と言うか、会の行事に参加され、後輩達への諸支援をする必要があり、又会費も納めて頂く無くてはなりません。

会費は、自動払い込み方式を採用していますので、現役部の役員諸氏かまたはO.B会の会計担当理事の森内氏から自動払い込み申請用紙を受け取ったら直ちに署名、捺印して所定場所へ送って下さる様に願います。

- 2、既会員で、まだ自動払い申請をされて居ない方々へのお願い。

此の会報(#45号)の第1頁の第2号議案に現状を詳しく述べています。是非に再読願います。

会の運営がスムーズに出来るように、後輩への支援を続け得るように、ご自分の会員義務を果たす為に早速会費納入をして下さい。

会費納入のやりかたは、本紙のこの文の下の枠内に2通りの方法を述べました。

年会費納入のお願い

1. 基本的には、“自動振込”方式をご利用下さい。
☆申込用紙・手続についての御不明点は下記へ御問合わせ下さい。

〒586-0077 河内長野市南花台1-3-3

森内 敏晴(凌霜ラグガークラブ会計担当理事)

2. 従来通り“振込方式”ご利用の方々は、

年会費 10,000円

○住友銀行 天満橋支店

普通預金 No.957978 凌霜ラグガークラブ

○三和銀行 大阪駅前支店

普通預金 No.27557 凌霜ラグガークラブ

○郵便局 00960-4-302152

凌霜ラグガークラブ

計 報

武田 栄二様(S.17年卒)

平成11年6月20日に、逝去されました。

ここに謹んで、ご冥福を心からお祈り申し上げます。